

「夫の育児」実態調査

61.0%の妻が、夫の育児に「満足している」!

育児中、夫に「イライラする」妻は 72.7%。

夫がやってくれた育児は、「お風呂の世話」「子どもと遊ぶ」。

一方、妻が本当にやってほしかったのは、「夜泣き対応」「1人の時間をくれる」!

育児を取り巻く問題は多く、母親の負担の重さや仕事との両立の大変さは度々話題に上がる。「イクメン」という言葉が流行語大賞トップ10にランクインしたのは2010年、それから瞬間に世に浸透したが、今本当の意味での「イクメン」は存在しているのだろうか。

今回、オウチーノ総研(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、首都圏在住で既婚子持ちの30歳~59歳女性858名を対象に、「『育児』に関するアンケート調査」を行った。子どもが小学生以上の場合、小学校に入学する前までの育児について回答してもらった。はじめに「育児中(子どもが小学校に入学する前まで)の夫婦の働き方」を聞いた。「夫だけが働いている」と言う人が56.1%、「共働き(2人ともフルタイム)」が17.2%、「共働き(片方がパートタイム、時短勤務など)」が24.4%、「妻だけが働いている」が0.8%、「その他」が1.5%だった。合わせると、「専業主婦・主夫」は56.9%、「共働き」は41.6%だった。次に「夫の育児に満足していますか?」という質問をしたところ、「満足している」人が61.0%だった。また、「育児中、夫にイライラすることはありますか?」と聞いたところ、「イライラする」という人は72.7%だった。最後に「育児中、夫がやってくれたことと、本当はやってほしかったことは何ですか?」という質問をした。「やってくれたこと」で最も多かったのは「子どものお風呂の世話」で70.6%、「子どもと遊ぶ」が67.4%、「子どものおむつの世話」が56.9%と続いた。「本当はやってほしかったこと」では、「子どもの寝かしつけ・夜泣き対応」が最も多く33.3%、次いで「1人の自由時間を作ってくれる」が32.3%、「食事の片づけ」が27.6%だった。

■調査概要

有効回答 首都圏在住で既婚子持ちの30歳~59歳女性858名

調査方法 インターネットによるアンケート調査

調査期間 2016年10月6日(木)~10月8日(土)

1. 61.0%の妻が、夫の育児に「満足している」!

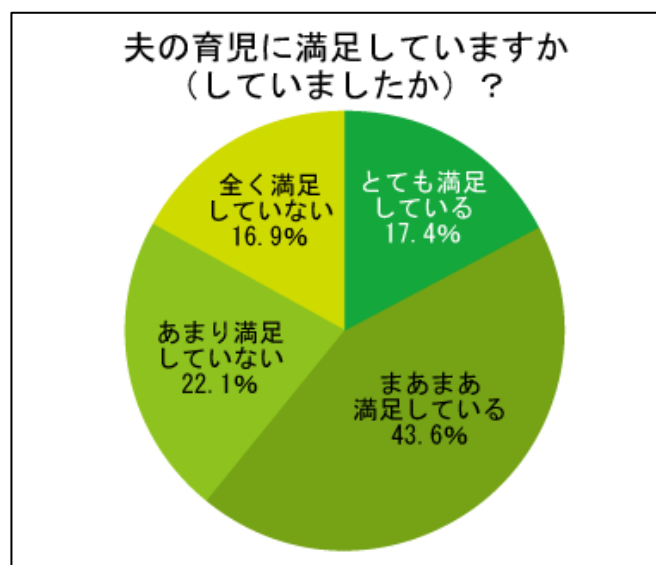
まず、「夫の育児に満足していますか(していましたか)?」という質問をしたところ、「とても満足している」という人が17.4%、「まあまあ満足している」が43.6%、「あまり満足していない」が22.1%、「全く満足していない」が16.9%だった。合わせると、「満足している」人は61.0%だった。年齢別に見ると、「満足している」という30代は66.4%、40代は60.2%、50代は56.3%と、年代が上がるにつれ、夫の育児に満足している人は少なくなることが分かった。

それぞれ理由を聞いたところ、「満足している」人からは「子どもとよく遊んでくれたから」という声が多く、具体的には「忙しいなか子どもの話し相手となり、よくつき合ってくれているから」(54歳)や「早く帰宅し、子どもの相手をしてくれたから」(42歳)などが挙げられた。次いで「休日は家族サービスをしてくれたから」という声が多く、例えば「育児はほぼ自分と同じ程度でき、休みの日には夫が全部の面倒を見てくれるから」(38歳)や「土日になると外に連れて行ってってくれるから」(35歳)などが聞かれた。他には「よく話し合い、知識面でよく面倒をみてくれたから」(55歳)や「忙しいなか、一緒に買い物に行ったり、私1人の時間を作ってくれたりしたから」(41歳)、「送り迎えや家事を手伝ってくれているし、何より子どもが懐いているから」(33歳)などが挙げられた。

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■

株式会社 オウチーノ(オウチーノ総研/池田) 〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 コモディオ汐留
<TEL:03(5776)1746 FAX:03(5776)1747 E-MAIL:soken@o-uccino.jp>

反対に「満足していない」人からは「何もしてくれなかった」という理由が最も多く、具体的には「育児に関与する気がないから」(39歳)や「育児は何一つせず、専業主婦だったため困らなかったが、遊び相手くらいはしてほしい」(59歳)などが挙げられた。次いで「仕事が忙しかったから」という声が多く、例えば「単身赴任、出張、土日勤務と、仕方がないこととは言えほとんど育児に参加してもらえなかった」(48歳)や「帰りが遅く、平日は頼れないから」(41歳)などが聞かれた。他には「子育てより自分の趣味を優先していたから」(55歳)や「遊んでくれるのは良いが、本気で喧嘩したり悪いお手本になっているから」(51歳)、「口は出すが、手は出さない」(58歳)などが挙げられた。

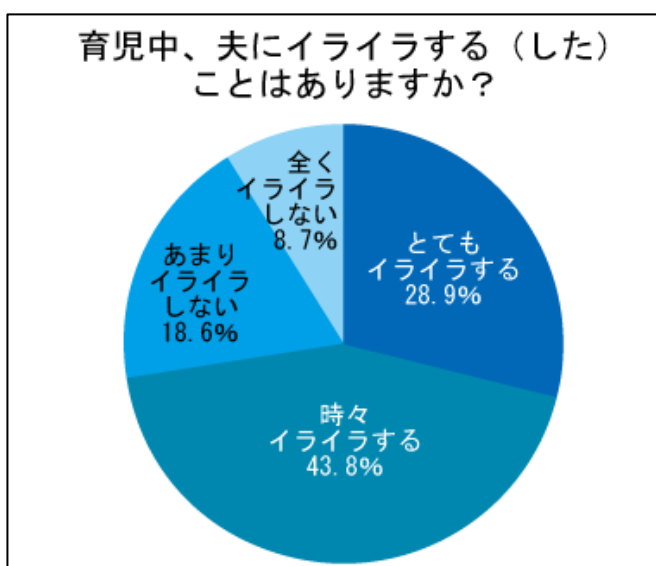


2. 育児中、夫に「イライラする」人は 72.7%。

次に「育児中、夫にイライラする(した)ことはありますか?」と聞いたところ、「とてもイライラする」という人が 28.9%、「時々イライラする」が 43.8%、「あまりイライラしない」が 18.6%、「全くイライラしない」が 8.7%だった。合わせると、夫に「イライラする」という妻は 72.7%だった。夫の育児に満足していても、イライラしてしまうことは多いようだ。

年代別に見ると、「イライラする」と回答した 30代は 78.7%、40代は 74.1%、50代は 65.4%と、年代が上がるほど減っているが、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということなのかもしれない。

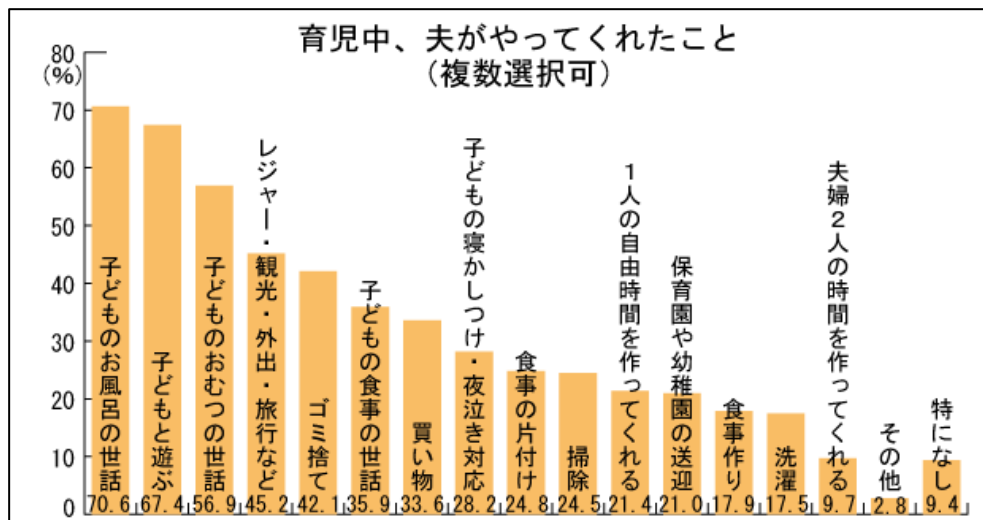
「イライラする」という人に、その原因を聞いた。最も多かったのが「夫の自己中心的な行動」で、具体的には「子どもが話しかけているのに、何かに夢中になって聞こえていないことが多い」(30歳)や「嫌なことは絶対にしてくれないから」(44歳)などが挙げられた。次いで「自分が忙しい時に何もしてくれない」という声が多く、例えば「子どもがいて忙しい時に『ご飯まだできないの?』など無神経なことを言うから」(39歳)や「24時間体制で忙しい時は手伝って欲しいのに、こちらから言わないと手伝おうとしないから」(58歳)などが聞かれた。他には「休日に子どもが夜泣きしている時も寝ていて起きなかったから」(34歳)や「言わなければ何もやってくれないから」(51歳)、「叱り方の方針が異なることが多かったから」(52歳)などが挙げられた。



3. 夫がやってくれた育児は、「お風呂の世話」「子どもと遊ぶ」。

一方、妻が本当にやってほしかったのは、「夜泣き対応」「1人の時間をくれる」!

最後に「育児中、夫がやってくれたことと、本当はやってほしかったことは何ですか?」という質問をした。まず、「やってくれたこと」で最も多かったのは「子どものお風呂の世話」で70.6%、「子どもと遊ぶ」が67.4%、「子どものおむつの世話」が56.9%、「レジャー・観光・外出・旅行など」が45.2%、「ゴミ捨て」が42.1%と続いた。働き方別に見ると、「レジャー・観光・外出・旅行など」と「特になし」以外の全ての項目で共働きが専業主婦・主夫を上回った。

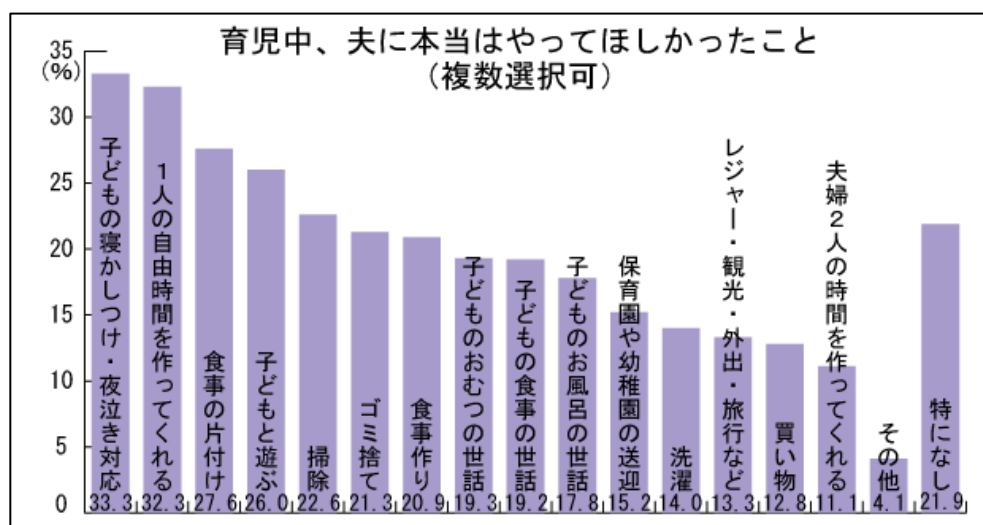


働き方別に見ると、「レジャー・観光・外出・旅行など」と「特になし」以外の全ての項目で共働きが専業主婦・主夫を上回った。

「本当はやってほしかったこと」では、「子どもの寝かしつけ・夜泣き対応」が最も多く33.3%、次いで「1人の自由時間を作ってくれる」が32.3%、「食事の片づけ」が27.6%、「子どもと遊ぶ」が26.0%、「掃除」が22.6%だった。また、「特になし」と回答した人は21.9%だった。

いわゆる「家事」の項目について働き方別に見ると、専業主婦の場合「食事の片付け」が26.0%、「掃除」が20.9%、「ゴミ捨て」が20.1%、「食事作り」が17.4%、「洗濯」が12.7%、「買い物」が10.9%、共働きの場合は順に30.3%、24.6%、23.2%、25.8%、16.0%、15.1%だった。どれも専業主婦・主夫を共働きが上回り、共働きの妻はもっと家事面の協力を得たいようだ。また、「夫婦2人の時間を作ってくれた」でも専業主婦・主夫では9.4%、共働きでは13.2%と差が大きく、共働き夫婦の時間のやりくりの難しさがうかがえた。

24時間365日続く育児のなかで、7割が夫に「イライラする」と回答した妻。一方で、夫の育児には満足している人も多かった。夫が「子どもの夜泣き対応」や1人の自由時間を作ってくることが増えれば、より妻の満足度は上がるのかもしれない。



オウチーノ de ヨムーノ: <http://www.o-uccino.jp/article/archive/kurashi/20161017-souken/>